

## はじめに

本手順書は「常駐型インベントリ収集エージェント（以下、エージェント）」を管理対象PCにセットアップする手順、プログラム環境を記載したものであり、ドメイン環境、ワークグループ環境共通となります。

インストール完了後、インベントリ収集エージェントは管理画面に設定したスケジュール(本手順書「4.エージェントの動作設定」を参照)に従い動作いたします。

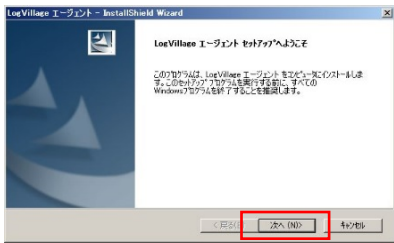
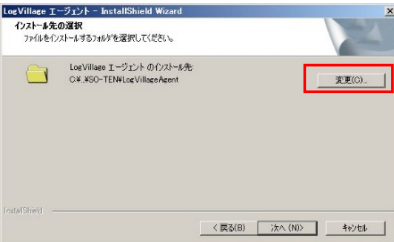

## 1.動作環境

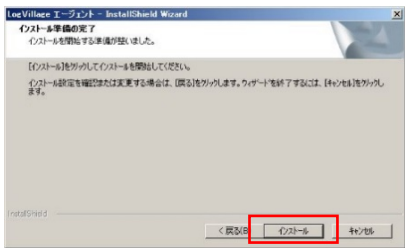
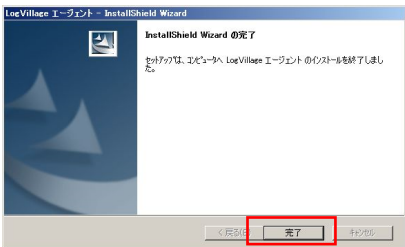
1	OS	Windows10 全エディション Windows8.1 全エディション
2	CPU	Pentium4 2GHz 相当以上
3	メモリー	2GB以上
4	HDD	5MB以上の空き容量(本体プログラム、ログファイル用)
5	ネットワーク通信	管理サーバとhttps（非SSL設定の場合はhttp）通信が行える必要があります。

## 2.用語の説明

	本手順書での用語	説明	備考
1	管理対象PC	エージェントをインストールしインベントリ情報収集を行うPC	
2	エージェント	自動でインベントリ収集を行う、管理対象PCにインストールする常駐型プログラム	
3	管理サーバ	エージェントが収集したインベントリ情報のアップロード先サーバ（LogVillageマネージャ）	

### 3.インストール手順

	区分		内容	備考
1	インストール準備	1-1	InventoryAGTsetupフォルダ内の設定ファイル（config.ini）を編集	詳細は「5.config.iniの編集」をご参照ください。
2	インストール	2-1	InventoryAGTsetupフォルダ内の「Setup.exe」を起動	「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合は[はい]をクリックします。
		2-2	[次へ]をクリック 	
		2-3	エージェントプログラムのインストール先を変更する場合は[参照]をクリックしインストール場所を指定 	(デフォルトのインストール場所) C:¥Program Files (x86)¥SO-TEN¥LogVillageAgent
		2-4	[次へ]をクリック 	

		2-5	<p>[インストール]をクリック</p> 	インストールが開始されます。
		2-6	<p>[完了]をクリックし インストールを終了</p> 	
3	インストール確認	3-1	<p>タスクスケジューラ登録を確認</p> <p>①管理対象PC：コントロールパネル→管理ツール→ タスクスケジューラを開く</p> <p>②タスクスケジューラ：左ペイン [タスクスケジューラ ライブラリ]をクリック</p> <p>③タスクスケジューラ：中ペイン 名前に以下が表示されていることを確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ LV_AGENTSCHEDULE</li> <li>・ LV_AGENTTASK</li> <li>・ LV_AGENTUPDATE</li> </ul>	「LV_AGENTTASK」が表示されない場合、インストール終了から「5.config.iniの編集」2-2. (3行目) Schedule=[整数] で設定した時間を経過後に再度ご確認ください。
		3-2	<p>管理サーバにてインベントリ情報収集確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (管理画面) 資産管理→ハードウェア台帳画面にて、当該管理対象PCのインベントリ情報が表示されることを確認</li> </ul>	<p>「4.エージェントの動作設定」で設定したログ収集周期の時間経過後にご確認ください。</p> <p>※強制的にインベントリ収集を実行する場合、タスクスケジューラで「LV_AGENTTASK」を右クリックし[実行する]を選択すると即時実行を行うことができます。</p>

#### 4.エージェントの動作設定手順

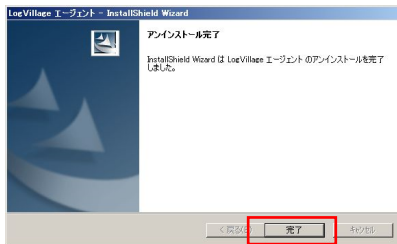
	区分		内容	備考
1	管理画面を開きログインを行う	1-1	https://[管理サーバのIPアドレス]/lv/login	
	ログ収集スケジュール画面を開	1-2	システム設定→グループ単位設定→ログ収集スケジュール	
	ログ収集スケジュール編集画面を開く	1-3	ALLグループの行の”スケジュールの内容を変更する”をクリック	エージェントの動作設定は、ALLグループでのみ有効となります。
	エージェントがインベントリ情報を収集する周期を設定する	1-4	「ログの種類」列の”エージェント”に収集周期を設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ログ収集周期」に設定した分（時間）の間隔でエージェントが自動実行します。</li> <li>・ログオン時のみ取得にチェックを入れると、管理対象PCがログオン操作を行った時のみエージェントが動作しインベントリ情報収集を行います。</li> </ul>
	設定を実行する	1-5	[設定]をクリック	全てのエージェントに当該設定が有効となります。

#### 5.config.iniの編集手順

	区分		内容	備考
1	設定ファイルを開く	1-1	InventoryAGTsetupフォルダ内の「Config.ini」をメモ帳で開く	
2	設定ファイルを編集	2-1	（3行目）Update=[整数] エージェントプログラムの更新チェックを行う周期（単位：分）を記述	管理サーバ上に新しいバージョンのエージェントプログラムがあれば、自動バージョンアップを行います。
		2-2	（4行目）Schedule=[整数] 管理サーバで設定されたエージェントの実行スケジュールを確認する周期（単位：分）を記述	「4.エージェントの動作設定」で行われた設定を取得します。
		2-3	（5行目）～（8行目） 変更を行いません	
		2-4	（9行目）Server=[管理サーバのIPアドレス] 管理サーバのIPアドレスを記述	

		2-4	(10行目) Server=[443 または 80] 管理サーバとの通信ポートを記述	
		2-5	(11行目) SSL=[1 または 0] 管理サーバとの通信がhttpsの場合は[1]、httpの場合は[0]を記述	
		2-6	(12行目) Username=[接続ID] LogVillageマネージャのインストール時に設定した「LogVillage ポーリングサーバの接続認証を行う際に使用するアクセスアカウン ト名」を記述	
		2-7	(13行目) Password=[接続IDパスワード] LogVillageマネージャのインストール時に設定した「LogVillage ポーリングサーバの接続認証を行う際に使用するアクセスアカウン ト名のパスワード」を記述	

## 6. アンインストール手順

	区分		内容	備考
1	プログラムと機能を開く		コントロールパネル→プログラムと機能	
2	アンインストールを実行		「LogVillageエージェント」を右クリックし[アンインストール] を選択	(ダイアログ) ”選択したアプリケーション、およびすべての 機能を完全に削除しますか?”と表示されたら[はい]をクリック します。
3	アンインストールを終了		[完了]をクリックし アンインストールを終了 	インストールフォルダ「LogVillageAgent」はアンインストー ル後もログファイル、設定ファイルなどが残ります。 完全に削除するには、手動で同フォルダの削除を行ってくださ い。

## 7.プログラム構成

	名前	場所	説明
1	LV_InventoryAGT.exe	[エージェントインストールフォルダ]直下	<p>インベントリ収集エージェント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本プログラムは、タスクスケジューラ「名前：LV_AGENTTASK」により自動実行されます。</li> <li>・タスクの作成・設定は、AgentScheduler.exeにより実行されます。</li> <li>・本プログラムの実行トリガーを変更する場合は「4.エージェントの動作設定手順」をご参照ください。</li> </ul>
2	AgentScheduler.exe	[エージェントインストールフォルダ]直下	<p>エージェントの動作スケジュールを管理サーバより取得するプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本プログラムは、タスクスケジューラ「名前：LV_AGENTSCHEDULE」により自動実行されます。</li> <li>・本タスクの作成・設定は、インストール時に「config.ini」の設定に従い実行されます。</li> <li>・本プログラムの実行トリガーをインストール後に変更する場合は、タスクタスクスケジューラを直接編集する必要があります。</li> </ul>
3	UpdateProgram.exe	[エージェントインストールフォルダ]直下	<p>エージェントのアップデート有無の確認を管理サーバの問い合わせ、アップデートがある場合は「LV_InventoryAGT.exe」の自動アップデートを行うプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本プログラムは、タスクスケジューラ「名前：LV_AGENTUPDATE」により自動実行されます。</li> <li>・本タスクの策定・設定は、インストール時に「config.ini」の設定に従い実行されます。</li> <li>・本プログラムの実行トリガーをインストール後に変更する場合は、タスクタスクスケジューラを直接編集する必要があります。</li> </ul>

## 8.ログファイル一覧

	区分		場所	内容
1	インベントリ収集動作ログ		[エージェントインストールフォルダ]¥log.txt	インベントリ収集プログラム（LV_InventoryAGT.exe）の動作ログが保管されます。 ファイル容量が128KBとなると、logsフォルダへバックアップ後にクリアされます。
2	インベントリ収集動作ログ バックアップ		[エージェントインストールフォルダ]¥logsフォルダ	30ファイルを上限にローテートします。
3	自動バージョンアップログ		[エージェントインストールフォルダ]¥updatelogフォルダ	エージェントの自動バージョンアップの動作ログが保管されます。 ファイル容量が150KBとなると、同フォルダへバックアップ後にクリアされます。 30ファイルを上限にローテートします。